

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 62-217762

(43)Date of publication of application : 25.09.1987

(51)Int.Cl.

H04N 1/00

H04N 1/21

(21)Application number : 61-059261

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 19.03.1986

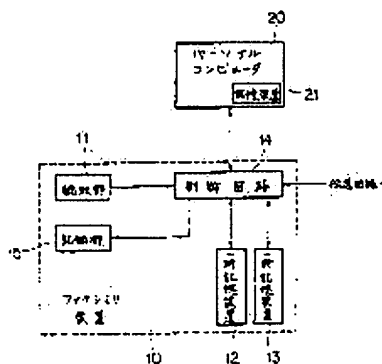
(72)Inventor : TANAKA HISASHI
MAEDA TAKESHI

(54) TRANSMISSION SYSTEM FOR FACSIMILE

(57) Abstract:

PURPOSE: To designate a receiving party or add individual information by transmitting both an original different according to the destination and an original common to all destinations when the original with the same content is transmitted to plural destinations.

CONSTITUTION: When the original with the same content is transmitted to plural destinations, first the original common to each destination is read by a reading part 12, added with a code identifying originals, and stored in a temporary storage device 12. At the time of transmission, first a personal computer 20 transfers and stores data on a front page to a temporary storage device 13. Then the telephone number of the destination is transmitted to establish a line, and the data on the front page stored in the device 13 is read out and transmitted. Upon the completion of the transmission, the data on the common original is consecutively transmitted from the device 12. When said processing ends, data is transmitted to the next destination according to a command from the computer 20, and said transmission is repeated until the original is transmitted to all destinations. Thus such transmission that a receiving party is designated and individual information is added can be made.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner s decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner s decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner s decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭62-217762

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和62年(1987)9月25日

H 04 N 1/00
1/21

1 0 2

B-7334-5C
7170-5C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 ファクシミリの送信方式

⑯ 特 願 昭61-59261

⑰ 出 願 昭61(1986)3月19日

⑱ 発 明 者 田 中 尚 志 川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内

⑲ 発 明 者 前 田 毅 川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内

⑳ 出 願 人 富 士 通 株 式 会 社 川崎市中原区上小田中1015番地

㉑ 代 理 人 弁 理 士 滝 野 秀 雄 外 2 名

明 細 書

1. 発明の名称

ファクシミリの送信方式

して送信することにより、各宛先毎に異なる画像と各宛先に共通な画像とを連続して各宛先へ送出するようにしたものである。

2. 特許請求の範囲

宛先毎に異なる原稿を作成し記憶するプロセッサシステム(5, 6)と、

各宛先に共通の原稿を読取ってパターン情報として記憶する手段(2, 3)と、

上記プロセッサシステムからの宛先毎に異なる原稿を送出した後に上記記憶手段からの共通原稿のパターン情報を読出して送出するための制御部(4)とを備えるファクシミリ装置(1)とからなることを特徴とするファクシミリの送信方式。

(産業上の利用分野)

同文の原稿を多数の宛先に送信する機能を備えたファクシミリ装置において、各宛先毎に対応する表紙を付して送信するための方式に関する。

(従来の技術)

同じ内容の原稿を複数の宛先に送信する同報機能を備えたファクシミリ装置は公知であるが、各宛先に送られる内容が同一であるため宛名人を特定することができない欠点があった。

また、パーソナルコンピュータをファクシミリ装置に接続するものも知られているが、これはファクシミリ装置の制御機能を分担し、あるいは送信原稿をファクシミリ装置で読取る代りに送信原稿をこのパーソナルコンピュータで作成するに過ぎないものであった。

3. 発明の詳細な説明

(概 要)

パーソナルコンピュータにより宛先別に作成した原稿と、ファクシミリ装置により読取ってパターン情報として記憶装置に記憶した情報とを連続

〔發明が解決しようとする問題点〕

同報機能によって多数の宛先に同一内容の原稿を送信する場合には、宛先の会社で受信されたとしても特定の受取人の指定が出来ないために、それがどの部門あるいは誰宛のものが判らないために所要の受取人に届けることが困難であった。

本發明は、同一内容の原稿を複数の宛先に送信するに際して、各宛先毎に異なる内容の原稿を伴せて送信することによって受取人を指定し、あるいは個別の情報を付記し得るようにするものである。

〔問題点を解決するための手段〕

第1図の原理図に示すように、ファクシミリ装置1には送信原稿を読取る原稿読取部2とこの原稿読取部2で読取った原稿をパターン情報として記憶する一時記憶装置3を設けると共に、宛先毎に異なる送信原稿を作成するとともに、作成された原稿を記憶する記憶装置6を有するパーソナルコンピュータなどのプロセッサ5を接続するよう

人に届けることができる。

なお、プロセッサ5により作成された送信原稿はパターン情報であってもよいし、また文字コードなどによるコードデータであってもよいが、後者の場合にはファクシミリ装置中でパターン情報に変換する必要がある。

〔実施例〕

第2図は本發明の実施例を示すもので、ファクシミリ装置10にはパーソナルコンピュータ20が接続される。

パーソナルコンピュータ20は予め宛先毎に異なる原稿（以下、表紙原稿、という）を作成してその記憶装置21に既に記憶しているものとして以下説明する。

各宛先に共通の原稿（以下、共通原稿、という）はファクシミリ装置10の読取部11により読取られ、パターン情報として一時記憶装置12に原稿の識別符号を付して記憶させるが、この制御はパーソナルコンピュータ20から行なうことも出

にした。

〔作用〕

各宛先に共通の送信原稿はファクシミリ装置1の原稿読取部2で読取られて、パターン情報として一時記憶装置3に記憶される。

一方、宛先毎に異なる送信原稿はプロセッサ5によって作成されて、その記憶装置6に記憶される。

送信を行なうに際しては、プロセッサ5からの宛先毎に異なる送信原稿を宛先毎に記憶装置6から読出してファクシミリ装置1から対応する宛先に送信し、その送信が終了すればファクシミリ装置1はその一時記憶装置3から各宛先に共通の送信原稿を読出してこの宛先に送信し、これによって受信側には宛先毎に異なる送信原稿と各宛先に共通の送信原稿とが組になって受信される。

したがって、プロセッサ5により作成される宛先毎に異なる原稿に受取人を指定する部門名あるいは個人名などを書き込んでおけば、所要の受取

来る。

送信を行なうに際しては、先ずパーソナルコンピュータ20から表紙原稿のデータをファクシミリ装置10の一時記憶装置13に転送記憶させるが、この記憶装置はパターン情報記憶のための一時記憶装置12の一部領域を割り当てることができ、その制御はパーソナルコンピュータ20から行なってもよい。

この表紙原稿のロードが終了すると、パーソナルコンピュータ20は送信開始命令をファクシミリ装置10に送出するが、この命令は送信開始符号、共通原稿の識別符号、宛先電話番号および必要に応じて発信時刻を指定するデータなどを含むものである。

これによりファクシミリ装置10は宛先電話番号を送出して回線が確立した後、一時記憶装置13に記憶されている表紙原稿のデータを読み出し送出し、それが終了すれば一時記憶装置12からの共通原稿データを引続き送出する。同時に不用となった表紙原稿のデータは一時記憶装置13

から削除する。

この送出了終了すると、ファクシミリ装置10はパーソナルコンピュータ20にその送出終了を報告し、この報告を受けたパーソナルコンピュータ20は次の宛先についての上記同様の送信開始命令をファクシミリ装置10に送出して、上記したと同様に次の宛先に送信を行ない、以下同様にすべての宛先に対する送信が終了するまでこれを繰返す。

すべての宛先に対する送信が終了したことをパーソナルコンピュータ20が識別するとパーソナルコンピュータ20は、共通原稿のデータに付された識別番号を指定して、その識別番号のデータをファクシミリ装置の一時記憶装置12から削除させ、すべての処理を終了する。

なお、ファクシミリ装置10についての以上のような制御は制御回路14により行なわれるものであり、また、ファクシミリ装置10には記録部15を設けて受信機としても使用できるようにすることが望ましい。

更に、表紙原稿がファクシミリ装置10にロードされない状態で送信開始命令がパーソナルコンピュータ20から与えられたときには、共通原稿のみが送信されるように制御することが好ましい。

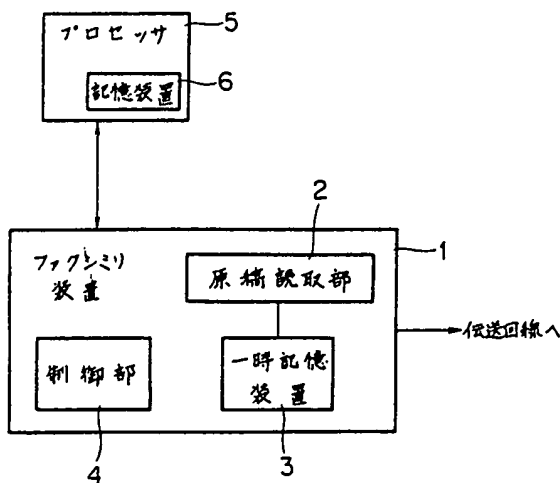
(発明の効果)

宛先に応じて異なる原稿と各宛先に共通な原稿とを併せて送信することができるので、同報を行なう際にも夫々の宛名人を指定できる。

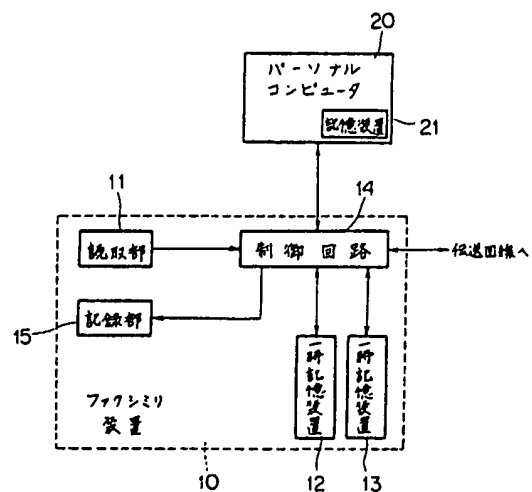
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の原理図、第2図は本発明の実施例を示すブロック図である。

1はファクシミリ装置、2は原稿読取部、3は一部記憶装置、4は制御部、5はプロセッサ、6は記憶装置である。



原理図
第1図



実施例
第2図